

【毛呂山町教育委員会】
1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

毛呂山町では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に資する取り組みとして、町の教育方針「夢をもち 世界にはばたく 毛呂山の子ども」育成のために、児童生徒一人一人が有益な情報機器の取り扱いを学び、変化の激しい社会を生き抜く力を身に付けられるよう、ICT環境整備を進めてきました。

取り組んできた授業では、ICT機器を効果的に活用し、分かりやすい学習を進め、学習意欲を高めています。情報収集能力、情報活用能力は、未来を生きる子供たちにとって、欠かすことはできません。そのための環境を整備し、情報活用の実践力、情報の正しい理解、情報社会に参画する態度など、バランスよく育成していきます。

2. GIGA第1期の総括

・1人1台端末の整備

毛呂山町においては令和2年度にICT端末の整備を実施し、児童生徒全員がICT端末を利用できる環境を整備しました。

・ICT端末の授業等での利活用の推進

GIGAスクール構想第1期において毛呂山町では、年度ごとに段階的な目標を設定して現場に負担の少ないICT端末の利活用の推進に取り組んできました。

当初は小学校高学年、中学校において週1回～月1回程度の活用を目標に設定し、授業でのICT端末の活用を推進しました。令和5年度においては、小学校1・2年生で1日1回以上、それ以外の学年で1日2回以上の活用を行う目標を達成することができました。

また、ICT環境の整備を実施したことにより新型コロナウイルス感染症等による臨時休校時等の学びを止めない取り組みとして、授業支援ソフトやウェブ会議システムを活用したオンライン学習を段階的に充実し、重要なツールとして日常的に利活用を行っています。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の整備・更新を計画的に行うことにより、児童生徒が1人1台の端末を利活用できる環境を整備・維持していく。

(1) 1人1台端末の積極的な活用を進めるために

各校の教員がICT活用の目的を理解し、ICT活用指導力の向上のために、ICT活用に関する研修を定期的の実施します。端末の家庭への持ち帰りを日常化し、学習者用デジタル教科書、AIドリルを校内及び家庭学習で活用します。また、課題解決に向けて論理的に思考する力を育成するため、プログラミング教室や教材などを活用します。

（２）個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のために

児童生徒１人１人が主体的に調べ学習や、考えをまとめて発表・表現を行う場面などで、１人１台端末を活用します。ICTの活用を通して、児童生徒自身で学習方法や、学習過程等を選択し、学びを広げて行くために１人１台端末を活用します。また、他の児童生徒の取り組みを見ることでヒントを得たり、自分と同じ考えや異なる多様な考えに触れることで自分の考えをさらに深め、興味を持った友達と意見交換をする「協働的な学び」の充実に取り組んでいきます。

（３）全ての児童生徒の学びの保障のために

端末が破損した場合においても、予備機の運用及び速やかな修繕を実施する体制を構築し、１人１台端末環境を維持します。

授業支援ソフトウェアやウェブ会議システム等を活用したオンライン学習環境の整備により、学校と学校外をつなぎ、不登校気味の児童・生徒や外国籍の児童・生徒等、様々な事情により教室で学ぶことが出来ない児童・生徒に対しても、学びを止めない学習環境を整備します。